

# 2013年度天文・天体物理若手 夏の学校 開催について



TOHOKU  
UNIVERSITY



HIToTsuNi  
Astro-SS13 party



2013年度夏の学校 事務局



# 皆様から頂いた主な意見への回答

以前皆さんにお送りした2013年度夏の学校事務局のサーキュラーにおいて、皆さんの夏の学校改善に対するご意見・ご要望を募集致しました。

その中から、主な意見に対してss13事務局としての回答を述べたいと思います。



# 皆様から頂いた主な意見への回答

○質の向上には反対。それならば、研究会に行けばよい。

我々は研究会レベルを目指しているのではなく  
夏の学校の底上げを目指しています。

○夏の学校の質が低下しているとは思わない。

我々も指摘されている質の低下の根拠を特定できませんでしたが質の低下を招く主要因として

発表人数の増加によりセッションが圧迫されている。  
にも関わらず、M1の口頭発表を無条件に優先していた。

の2つを考えており  
対処すべきことと考えています。

# 具体案 (確定事項ではないので変更の可能性があり得る)

## ①参加申込時に提出するアブストラクトを**集録に変更**

集録の様式：

目安としてA4で4ページ程度(下限ではない)

スライドの提出は禁止

細かなレイアウトは自由であるがAbstractは必ず書くこと  
(いくつかの例は事前に提示します)

レビューの場合は独自の意見や自分の研究との関係を明記する

## ②人数調整の際はM1の口頭発表を無条件に優先する

ことはせず、集録の**査読により公平に判断する**。

## ③発表人数に合わせてセッション全体の時間を伸ばす

ことはしない。

# 具体案

(確定事項ではないので変更の可能性があり得る)

他にも

④質問時間以外にa講演者と直接議論できる時間を設ける。

⑤ポスターセッション中にb,c講演者に会えるようにする。

などの対策を行う予定です